

大塚オーミ陶業のマテリアリティ(重要項目)と主に関連するSDGs

マテリアリティ (重要項目)		社会課題	目標	活動	主に関連するSDGs
社会	健康	<ul style="list-style-type: none"> 満たされていない医療・健康ニーズの存在 感染症の蔓延 栄養ニーズの存在 高齢化に伴う課題の増加 	<ul style="list-style-type: none"> すべての人々が質の高い文化芸術活動に触れる機会の提供 人々の心のつながりや相互の理解・尊重を促す場・モノの提供 住みたい、住み続けたいまちづくりの実現 心豊かな活力ある社会の実現を担う人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 大塚国際美術館や公共空間での文化体験機会の創出 「歴史・文化遺産」の保存・活用に貢献 「地域」や「組織」の文化的価値を未来につなぐ活動に貢献 アートの担い手との共創による、陶を通じた新しい作品づくり 	
	人材	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンティーズム ※1 多様化への未対応 	<ul style="list-style-type: none"> 創造意欲を喚起する企業風土の醸成 従業員エンゲージメントの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 ダイバーシティ推進 健康経営 	
	品質	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能性を損なう消費、生産 	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーの信頼の獲得 バリューチェーン全ての段階での持続可能性の追求 安心・安全のための品質保証体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> やきものの可能性を追求した高品質なものづくり ステークホルダーとのコミュニケーションの深化 	
環境	カーボンニュートラル ※2	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 	<ul style="list-style-type: none"> 2028年目標:CO2排出量を2017年度比で50%削減する 	<ul style="list-style-type: none"> 生産効率化を図り、スコープ1排出量を削減する 	
	サーキュラーエコノミー ※3	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の増大 	<ul style="list-style-type: none"> 2028年目標:単純焼却・埋立を2019年度比で50%削減する プラスチックの削減をする 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネの推進により、スコープ2排出量を削減する 廃棄物を分別し3Rを推進する ペーパーレスを推進する 	
	ウォーターニュートラル ※4	<ul style="list-style-type: none"> 水リスクによる淡水の利用可能量減少 	<ul style="list-style-type: none"> 2028年目標:水の利用効率を2017年度比で15%改善する 	<ul style="list-style-type: none"> 梱包材・緩衝材のリサイクルを推進する 拠点地域外に廃棄物として排出される汚泥を減らす 	
ガバナンス		<ul style="list-style-type: none"> 脆弱なガバナンス体制 社会変化によって生じるリスク 	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な企業価値の向上 	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスの強化 コンプライアンスの徹底 リスク把握、評価、管理 	

※1出社しているにも関わらず、心身の状態の悪さから生産性が上がらない状態
 ※2持続可能なエネルギー利用、※3持続可能な原材料利用、※4持続可能な水資源利用